

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 5月 17日

事業所名 ちゃーげんき

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	0	利用定員に応じたスペースである。活動によって部屋を分けて対応することもあります。	
	2	職員の配置数は適切である	2	2		突発的な職員の休みや、児童のマンツーマンになる時など職員数の配置が必要な場合もある。マンツーマン対応の児童が多い日には職員数が足りるように多くするなど調整しています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	1	絵表示等を使い分かりやすくしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	0	毎日掃除を行っています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	1	その都度ミーティングを行い、業務改善を図っています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	1	毎年保護者の評価をしてもらい、業務改善に繋げています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	ホームページや会報で公開しています	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2		今年度中に行います。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	1	強度行動障害研修、発達管研修等を受けられるよう機会を確保しています	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	0	契約時にアセスメントを行い個別支援計画を作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	0	自社のアセスメントシートを使用しています。	外部のアセスメントシート等も参考にします。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	0	家族支援、地域支援を設定しています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	0	計画に沿った支援が行えるようにしています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	チームで話し合い活動プログラムを立案しています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	児童のやりたいことなども聞きながら固定化しないようにしています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	4	0	活動時間を設定し計画を作成しています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0	出勤時間がずれてしまうこともあるのでできない時もありますが、その都度役割分担をしています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	0	出勤時間がずれてしまうこともあるのでできない時もありますが、その都度振り返りを行っています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	日々記録しています。当日できない時は翌日の朝には記録しています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	0	最低半年に1回は見直しをし児童によっては3カ月に1回と見直しを行う時もあります。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0	児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	0	必要に応じて関係機関と連携を取っています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	3	1		医療的ケアに児童がいないです。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	3	1		医療的ケアの児童がいないです。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	0	担当者会議等で情報共有を行なっています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	0	担当者会議等で情報共有を行なっています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	0	外部講師の研修や必要に応じて研修を行っています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	2		交流する機会を作ります。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	2		積極的に参加します。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	日々送迎、メール等で情報共有を行っています。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	2	相談があった場合にはその都度助言しています。	今後は、職員にペアレント・トレーニング等の研修をし保護者に支援ができるよう検討します。	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	契約時に説明をしています。		
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	0	支援の内容を保護者に説明し個別支援計画の同意を得ています。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0	その都度支援と助言をしています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	2	昨年、保護者会を開催しました。	今後も開催し保護者同士連携が取れるようにします。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0	職員で情報共有をし、会議で検討した上で保護者へ助言しています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0	ちゃーげんきしおりで子どもの様子等を載せています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	4	0	十分注意しています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	1	絵カード等を使っています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	2		地域の行事に参加し交流する機会を作ります。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	0	半年に1回行っています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0	半年に1回行っています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	0	その都度確認しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	0		保護者からの申し出のみで対応しているため医師からの指示書に基づいて対応できるようにします。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0		口頭のみでの情報共有をしていることもあるので、記録に残します。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0	半年に1回行っています。	外部の研修も入れていきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	0	記載しています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。